

厚生労働省発生食 0822 第 4 号  
令和 5 年 8 月 22 日

食品安全委員会  
委員長 山本 茂貴 殿

厚生労働大臣 加藤 勝信  
( 公 印 省 略 )

食品健康影響評価について

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項第 14 号、食品安全委員会令（平成 15 年政令第 273 号）第 1 条第 1 項及び食品安全委員会令第 1 条第 1 項の内閣府令で定めるときを定める内閣府令（平成 15 年内閣府令第 66 号）第 1 号の規定に基づき、下記事項に係る同法第 11 条第 1 項に規定する食品健康影響評価について、貴委員会の意見を求めます。

記

組換え DNA 技術応用食品及び添加物の安全性審査の手続（平成 12 年厚生省告示第 233 号）第 3 条第 1 項の規定に基づき、次に掲げる添加物の安全性審査を行うこと。

JPAo006 株を利用して生産されたリパーゼ





# JPAo006 株を利用して生産されたリパーゼに係る食品健康影響評価について

## 1. 趣旨

「JPAo006 株を利用して生産されたリパーゼ」については、令和 5 年 6 月 28 日付けでノボザイムズジャパン株式会社から、遺伝子組換え添加物の安全性審査の申請があったことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項第 14 号等の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

## 2. 評価依頼品目の概要

本品目は、生産性の向上を目的として、*Aspergillus oryzae* IFO4177株を宿主とし、変異を導入した *Thermomyces lanuginosus* CBS586.94株由来のリパーゼ遺伝子及び *Fusarium oxysporum* DSM2672 株由来のリパーゼ遺伝子を基に全合成した *lipHL2120*遺伝子の導入等を行ったJPAo006株を利用して生産されたリパーゼである。

## 3. 酵素の機能

本品目は、油脂を加水分解する酵素である。

## 4. 利用目的及び利用方法

本品目は、製パン工程で配合される乳化剤の代替として添加される。用途及び使用形態は既存のリパーゼと相違はない。

## 5. 海外の状況

本品目は、米国、カナダ及びフランスにおいて承認等を受けている。

## 6. 今後の方針

食品安全委員会からの食品健康影響評価の結果を得た後、官報公告等の手続を進める。